

新刊必切5月27日(金)

Pヴァイン・レコード創業者が半世紀近く座右に置く、名著中の名著

# ブルースと話し込む

1960年、英国人歴史家ポール・オリヴァーが米国に渡り、採録したブルースの生の声。世界から隔絶した、当時の米国南部の黒人音楽の躍動をつたえる本書は、80枚の貴重写真を添えて、5年後の65年にロンドンハカセル社《ジャズ・ブック・クラブ》の一冊として世に出た。「読者はブルースがブルースとして歌い演奏される現場でブルースがどのようなものなのかということをつぶりと、ブルースを体現するひとたちから語られる」



### こんな本を読んできた方に

- ・オリヴァー『ブルースの歴史』晶文社、1978年
- ・日暮泰文『ノイズ混じりのアメリカ』冬樹社、1980年
- ・カイル『アーバン・ブルース』ブルース・インターアクションズ、2000年
- ・日暮泰文『のめりこみ音楽起業』同友館、2010年
- ・日暮泰文『RL—ロバート・ジョンソンを読む』Pヴァインボックス、2011年

### 記者略歴

日暮泰文〈ひぐらし・やすふみ〉Pヴァイン・レコード創業者。1948年、東京・新宿に生まれる。中高生のときブラック・ミュージックに心酔し、これを世に知らしめようとのミッションを抱く。60年代後半、慶應義塾大学法学部在学中に鈴木啓志らとブルース愛好会を結成。会報誌「ブルース」の版元として、75年にブルース・インターアクションズ（Pヴァイン・レコード）を高地明と興し、少量多品種リリースの出版社兼レコード会社に育てる。

ご注文は、**03-6369-3339** ファクスお待ちしております！

<p>貴店印</p>	<p>注文数</p>	<p>ポール・オリヴァー=著 日暮泰文=訳</p> <p>世紀音楽叢書第一弾</p> <h2 style="text-align: center;">ブルースと話し込む</h2> <p>四六判 336ページ（うち写真48ページ）</p> <p>ISBN978-4-907511-25-8 本体1850円 2016年6月17日搬入予定</p>
------------	------------	--